

経営比較分析表

長野県 安曇野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	65.57	98.98	3,080

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
98,630	331.78	297.28
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
97,423	150.54	647.16

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率の指標から、100%を上回っていることから収益性に関して問題がないといえる。
 ③流動比率に関してはH25に比率が悪化しているが、これは当該年度に第一次拡張事業として工事を多く行い、これに伴う現金の支出及び未払金の増加による流動資産の減少・流動負債の増加が原因である。ただし指標は悪化しているが100%以上の数値であるので返済能力に問題はないと判断できる。
 ⑤料金回収率・⑥給水原価に関して、H26の数値が大きく変動しているが、これは給水原価の算定にあたって、長期前受金戻入の額を算入することとした法改正の影響によるものであるため、今後数年の指標の変化により判断していく必要がある。
 ⑦施設利用率に関しては年々配水量が減少している影響を受け、全国平均に対して下回っている状況である。⑧有収率についても全国平均を下回っているが、今後の継続的な漏水調査や、計画的な老朽管の布設替工事により、改善する見込みである。

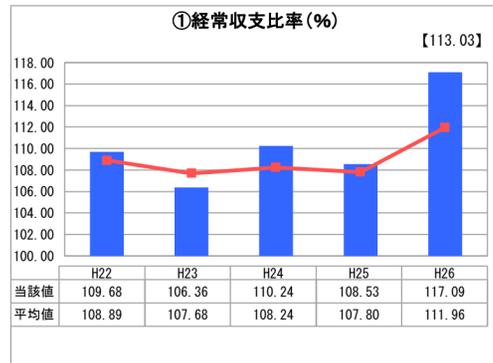
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は平均値をわずかに下回っているが、平均値同様、増加傾向にある。今後も増加するとなると将来的に高い更新需要が見込まれる。更新の前倒し実施等による費用の平準化を検討する必要がある。管路更新率はH24以降平均を上回っているが年度ごと不安定である。更新率は1%前後であり、法定耐用年数内での更新は難しい。直近の管路経年率も横ばいに推移しているが、同じペースで管路更新をしていけば増加すると思われる。管路の長寿命化や効率的な更新計画の検討、投資計画の見直しが必要である。(水道ビジョンを策定し計画的な更新を進める。)

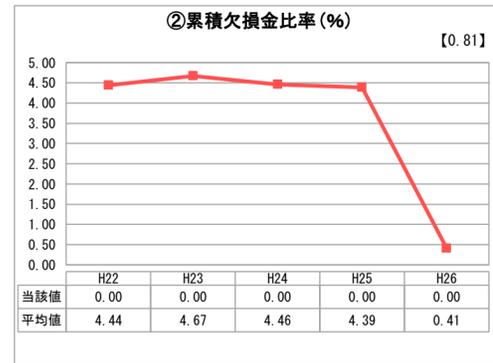
全体総括

給水人口、給水収益が減少している状況にあり、今後も将来人口推計からも人口の増加が見込めないことから、職員ひとり一人がコスト意識を持って経費節減に努めることにより企業の経済性を発揮していく必要がある。また災害に強い水道施設の整備や老朽管更新などを計画的に進め、健全な財務状況を維持した事業運営を行っていきたい。

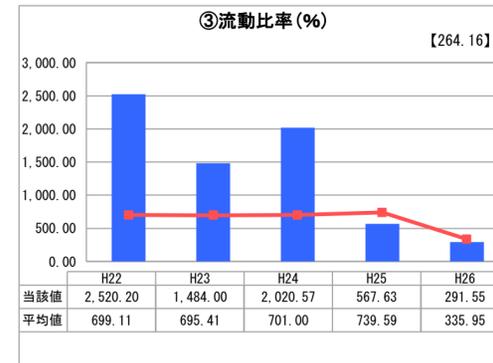
1. 経営の健全性・効率性



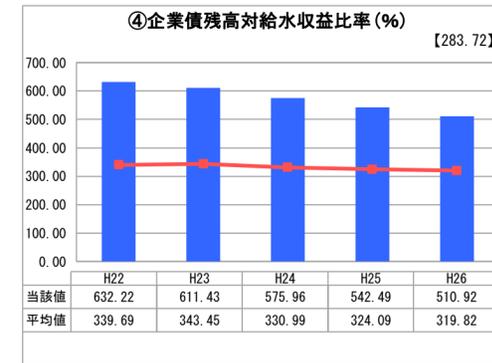
「経常損益」



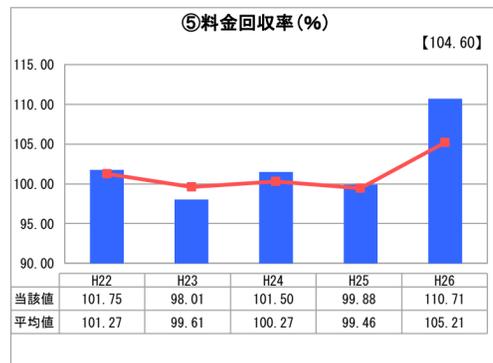
「累積欠損」



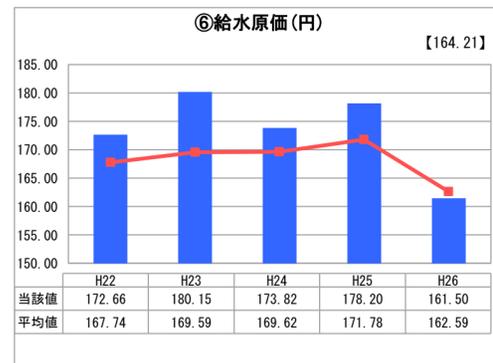
「支払能力」



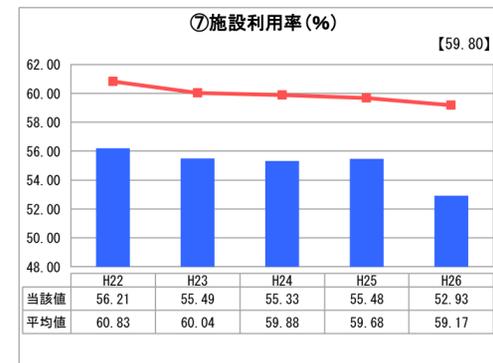
「債務残高」



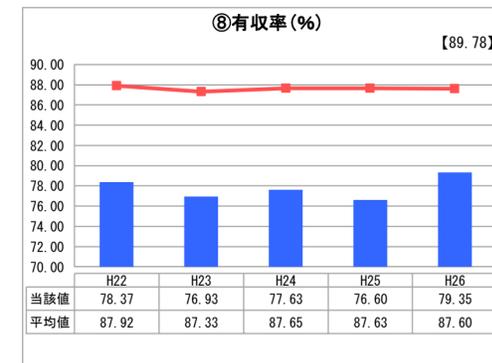
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

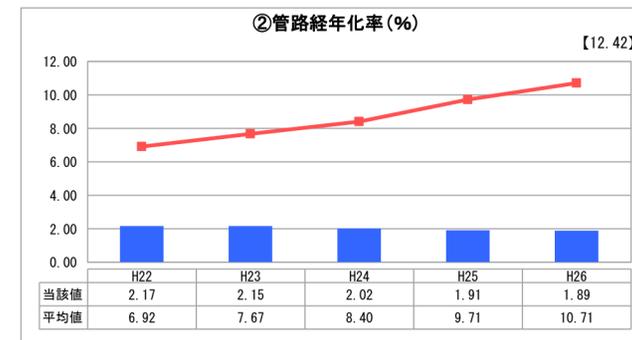


「供給した配水量の効率性」

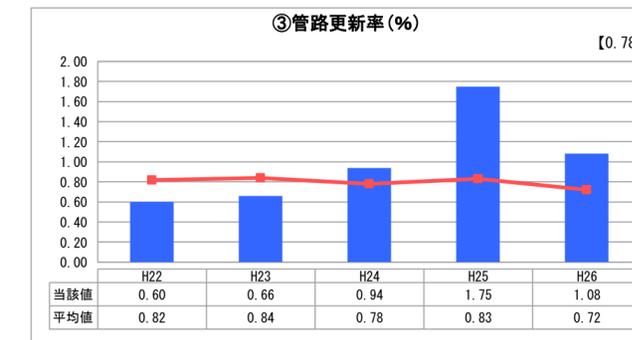
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

長野県 安曇野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	81.07	100.00	3,888

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
98,630	331.78	297.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
79,793	30.75	2,594.89

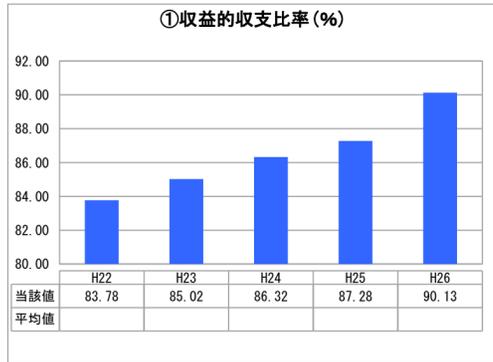
グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

分析欄

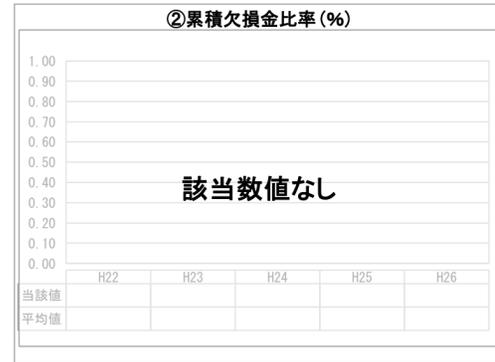
1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率、経費回収率は年々改善しているが、平成26年度を見ても100%を下回っており、汚水処理原価も高いため、経営状況としては、良好ではない状況である。今後、水洗化の推進を図り、使用料等の見直しなど、具体的な対策を講じる必要性はある。平成28年度から下水道全事業の法適用により財政計画等に取組み健全経営に努めたい。

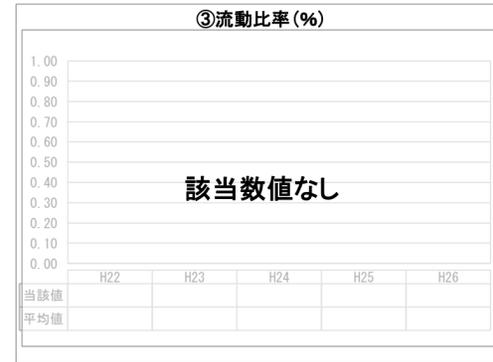
1. 経営の健全性・効率性



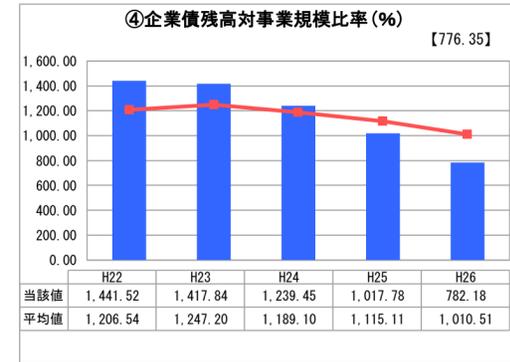
「単年度の収支」



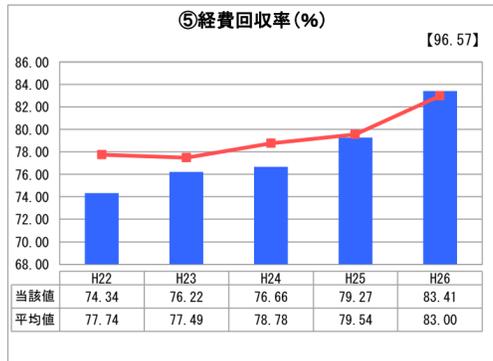
「累積欠損」



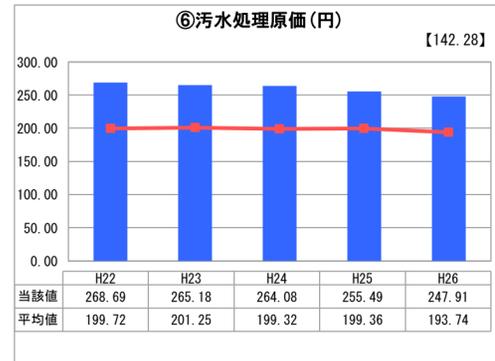
「支払能力」



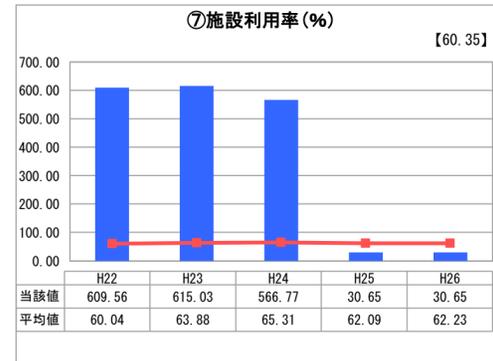
「債務残高」



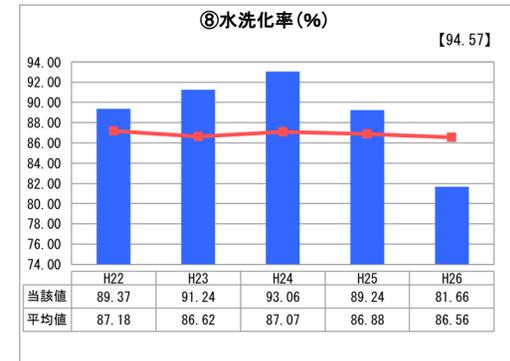
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

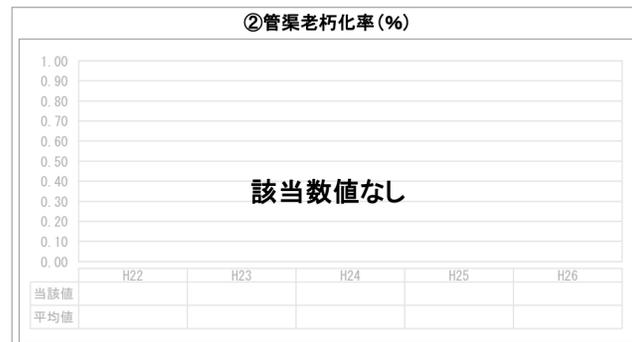


「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

全体総括

平成28年度より地方公営企業法適用事業として、経営を行っていく。今後、経営戦略の策定及び長寿命化計画等の取組みの中で検証を行い見直す予定。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

長野県 安曇野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.03	100.00	3,888

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
98,630	331.78	297.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,903	2.91	2,715.81

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率、経費回収率は年々改善しているが、平成26年度を見ても100%を下回っており、経営状況としては、良好でない状況である。また、汚水処理原価は類似団体平均と同程度であるが、さらなる経費節減等が必要であると考えられる。今後、水洗化の推進を図り、使用料等の見直しなど、具体的な対策を講じる必要性はある。平成28年度から下水道全事業の法適用により財政計画等に取組み健全経営に努めたい。

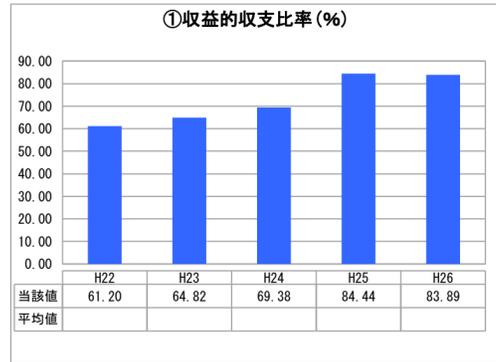
2. 老朽化の状況について

現在は、老朽化により施設を修繕、改築しなければならない事象は生じていない。今後、施設の状態を客観的に把握、調査し、長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理する予定。

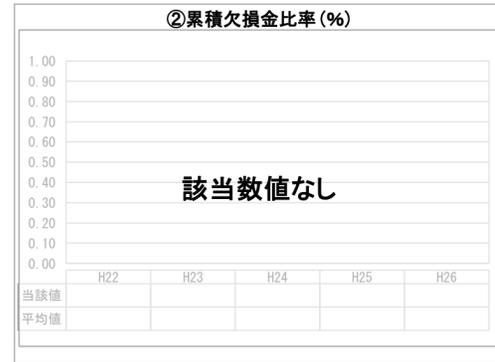
全体総括

平成28年度より地方公営企業法適用事業として、経営を行っていく。今後、経営戦略の策定及び長寿命化計画等の取組みの中で検証を行い見直す予定。

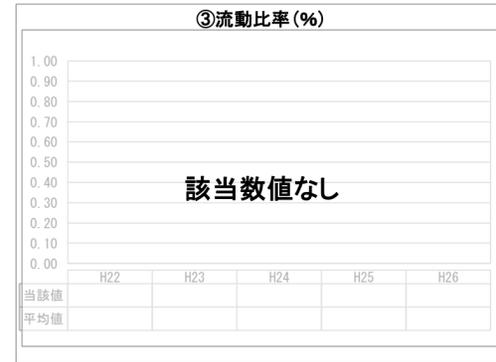
1. 経営の健全性・効率性



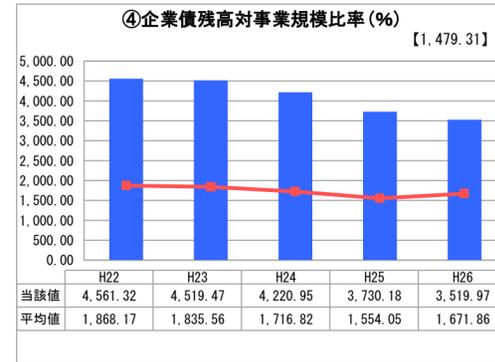
「単年度の収支」



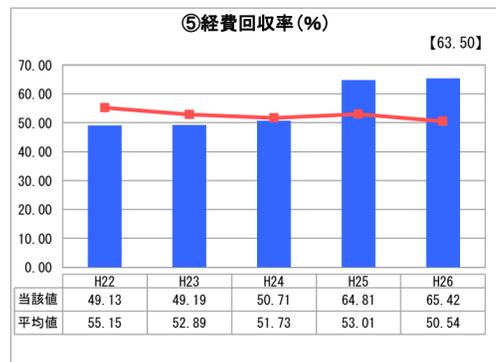
「累積欠損」



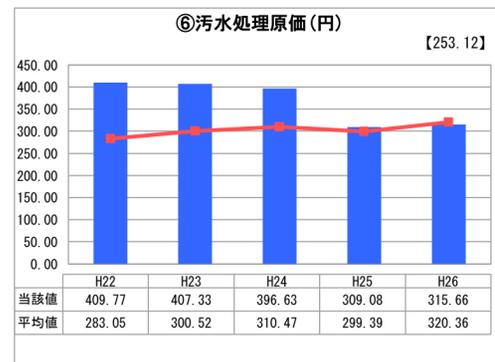
「支払能力」



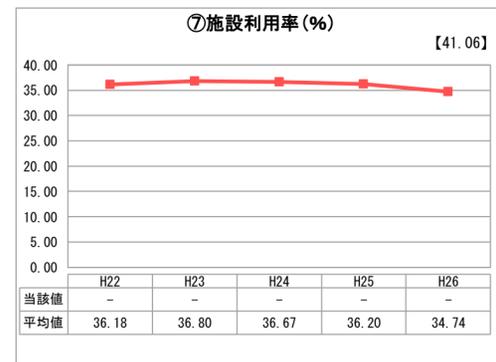
「債務残高」



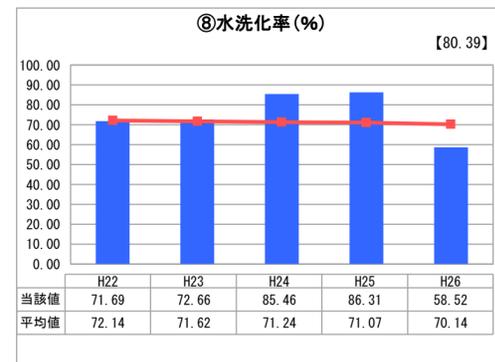
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

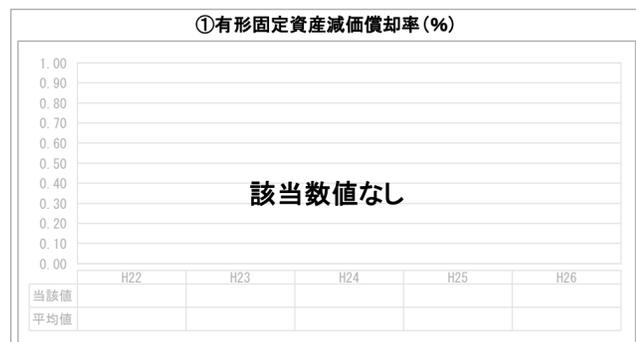


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

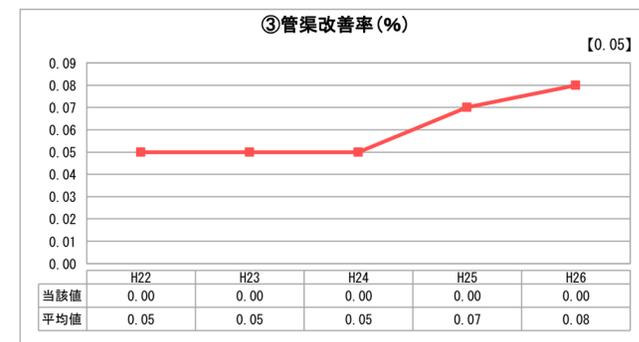
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

長野県 安曇野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.03	95.53	3,888

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
98,630	331.78	297.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,978	0.91	3,272.53

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率は平成26年度に100%を超え、汚水処理原価も類似団体平均以下となっている。しかし、収益的収支比率は80%台を推移しており、経営状況は必ずしも良好ではない。今後、使用料等の見直しなど、具体的な対策を講じる必要性はある。平成28年度から下水道全事業の法適用により財政計画等に取組み健全経営に努めたい。

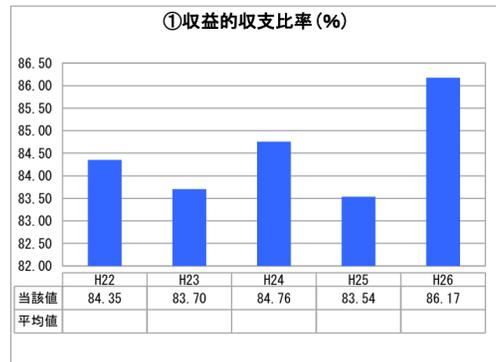
2. 老朽化の状況について

現在は老朽化により施設を改築、修繕しなければならない事象は生じていない。今後も施設の状態を注視し、必要な修繕、改築を行う。

全体総括

平成28年度より地方公営企業法適用事業として、経営を行っていく。今後、経営戦略の策定及び長寿命化計画等の取組みの中で検証を行い見直す予定。

1. 経営の健全性・効率性



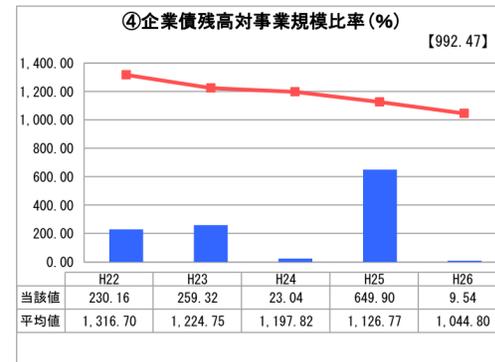
「単年度の収支」



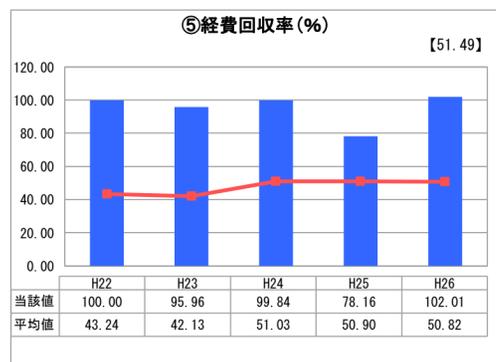
「累積欠損」



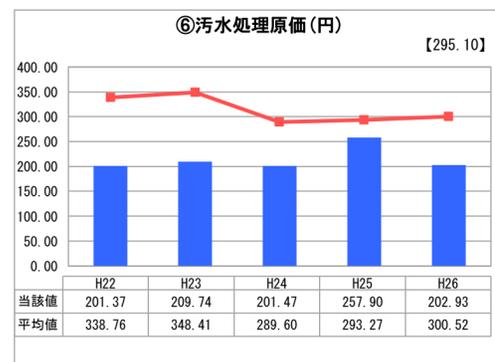
「支払能力」



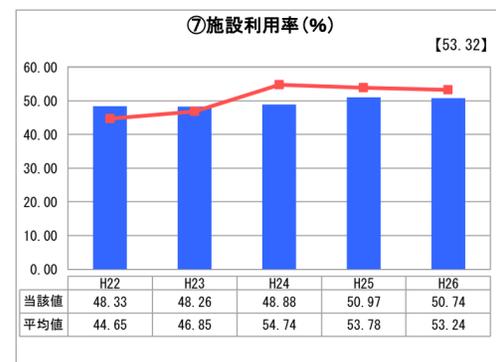
「債務残高」



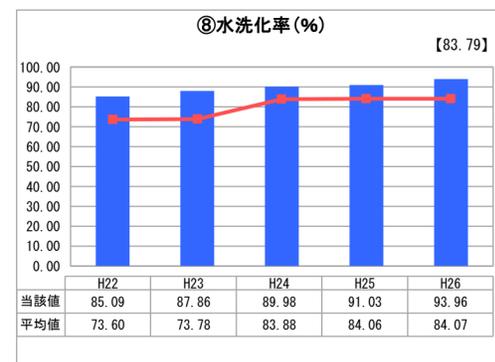
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

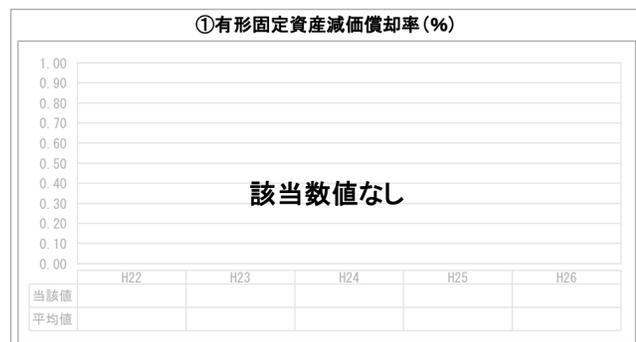


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

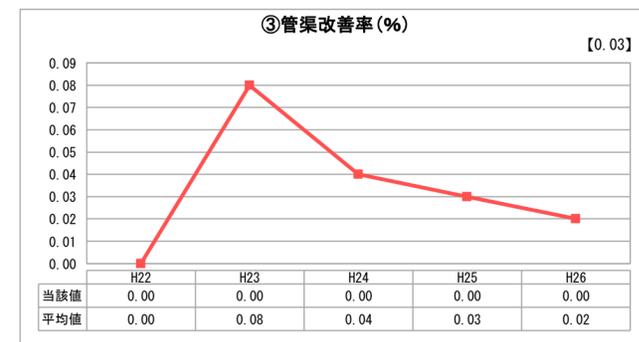
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

長野県 安曇野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.07	100.00	3,888

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
98,630	331.78	297.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
69	0.02	3,450.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率、経費回収率が100%を下回っており、経営状況としては、良好ではない。また、企業債残高対事業規模比率は類似団体平均と比較しても非常に高いため、改善していく必要がある。人口減少も大幅に進んでいるため、下水道事業全体として財政計画等取組み健全経営に努めたい。

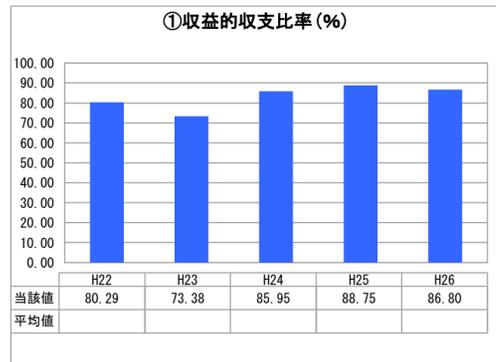
2. 老朽化の状況について

現在は老朽化により施設を改築、修繕しなければならない事象は生じていない。今後も施設の状態を注視し、必要な修繕、改築を行う。

全体総括

平成28年度より地方公営企業法適用事業として、経営を行っていく。今後、経営戦略の策定及び長寿命化計画等の取組みの中で検証を行い見直す予定。

1. 経営の健全性・効率性



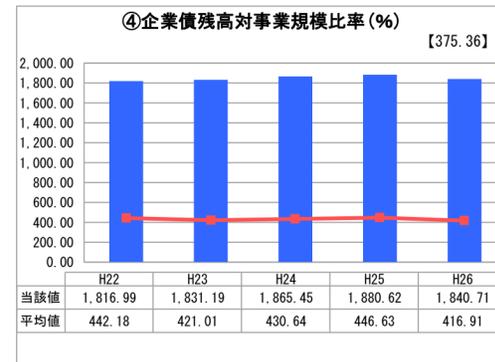
「単年度の収支」



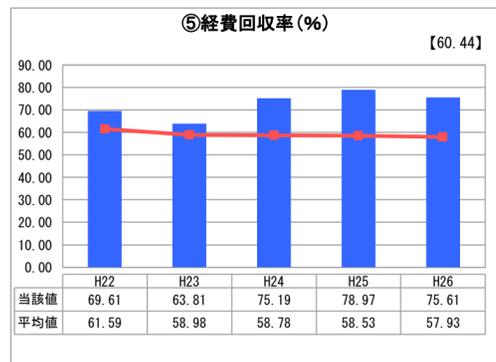
「累積欠損」



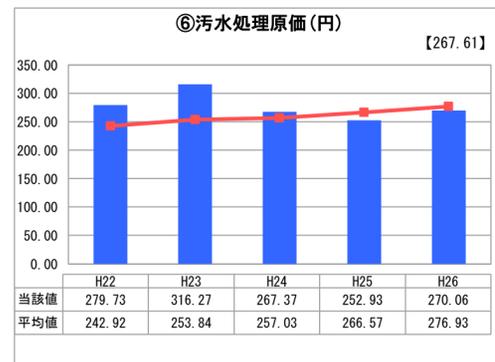
「支払能力」



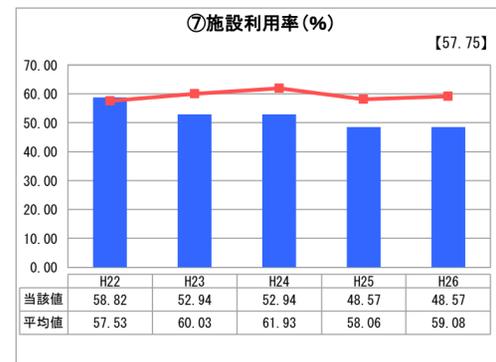
「債務残高」



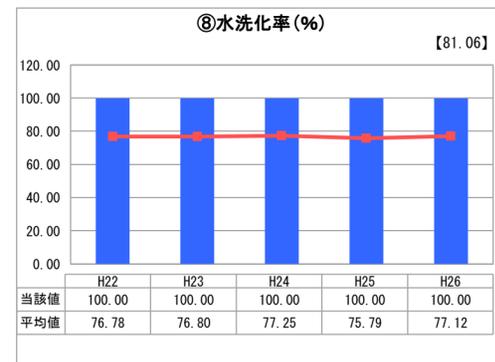
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

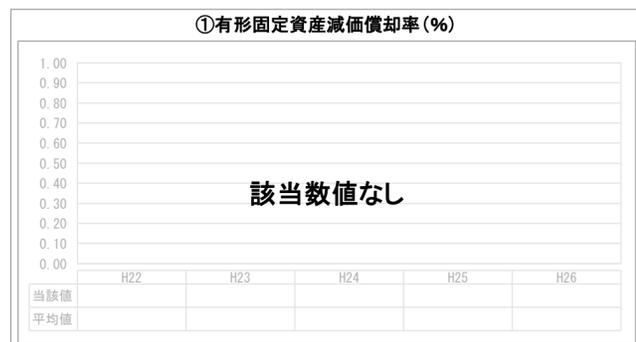


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

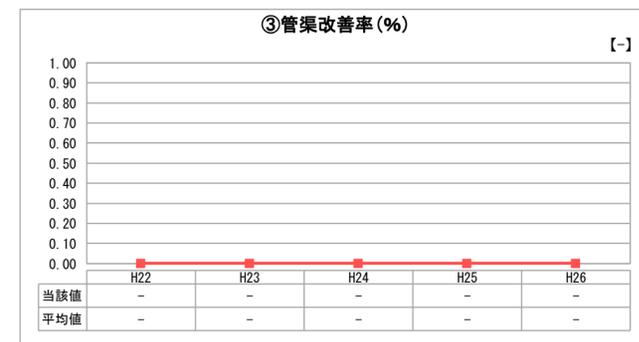
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。